

活動実績報告書

平成26年4月16日

登録番号 20130581

氏名 石田 健

1. 活動状況

平成25年2月 ～ 平成26年4月

(記載事項)

- ・ 活動の概要

湯沢町森林整備推進協定の締結

協定者: 湯沢町長・新潟県南魚沼地域振興局長・中越森林管理署長

新潟県中越流域における森林・林業の再生と活性化を行うにあたり、まずは最上流部に位置する湯沢町で町全域を協定区域とする森林整備推進協定を締結し、中越流域のモデル事業として位置付けた。

- ・ 当該活動を挙げた理由

森林整備推進協定を締結するにあたっては、協定締結による地域の森林・林業の再生と活性化についての構想を描き、地域住民、新潟県南魚沼地域振興局、湯沢町、森林組合、林業事業体に対して構想のプレゼンテーションを行い、関係者の合意形成を図り、協定締結に結びつけることができた。

また、本協定では、民有林の集約化の推進を行うこととしており、提案型集約化施策を取りまとめる森林施業プランナーの育成を同時に始めた。

- ・ 当該活動における、あなたの立場と役割

国有林の森林総合監理士として民国連携した活動を通じて民有林支援を行う役割を担っている。

- ・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

施業団地として予定した県行造林地内に個人所有地と共有地が存在しているといった問題があった。

対応策として、それらの土地を除外して施業団地を設定した。

今後は、それらの土地所有者の理解と協力を得ながら協定期間内に施業団地に組み入れできるように対応する。

また、森林整備推進協定を円滑に遂行するために協定締結者と森林組合、林業事業体で構成する森林整備推進協定運営会議を設立した。

- ・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

現在の施業団地数は一団地であり、川下の需要に対する木材生産量が少ないことから新たな施業団地の設定、民有林の集約化が必要である。

そのために集約化を担う人材である森林施業プランナーを県の森林総合監理士と連携して森林経営計画の作成支援等を行いながら育成する。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

2. 研修の受講状況

研修名 平成24年度准フォレスター等育成研修Ⅰ (実施主体) 林野庁(関東ブロック)	平成24年7月
研修名 平成24年度准フォレスター等育成研修Ⅱ (実施主体) 林野庁(関東ブロック)	平成24年9月
研修名 平成24年度准フォレスター等通信研修 (実施主体) 林野庁(関東ブロック)	平成24年10月～ 平成25年2月

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- ・ 各種研修の企画、運営又は指導者、講師としての参加
 - 1 平成24年度中越流域准フォレスター等会議の企画、運営を行った。
参加者: 県准フォレスター、国有林准フォレスター等
 - 2 平成25年度森林作業道現地検討会(准フォレスターフォローアップ研修)の企画、運営を行った。
参加者: 県准フォレスター、市町村森林・林業担当者、森林組合、林業事業体
国准フォレスター等
 - 3 平成25年度中越流域准フォレスター等現地検討会(准フォレスターフォローアップ研修)の企画、運営を行った。
参加者: 県准フォレスター、国有林准フォレスター等
- ・ 森林総合監理士(あるいは森林総合監理士に関連していると考えられる)としての活動等の研究会、シンポジウム等での発表
 - 1 平成25年 関東森林管理局 度森林・林業技術等交流発表会で発表
発表課題「森林総合監理士(フォレスター)活動報告」
- ・ 森林総合監理士(あるいは森林総合監理士に関連していると考えられる)としての活動に関連する各種研修への参加
 - 1 准フォレスター研修修了者のフォローアップのための現地検討会へ参加

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。